

## 【政策 1】子育て・教育



### 【施策 1－1】

教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

主管課：学校教育課

#### ◆現状と課題

変化の激しいこれからの社会を生きるために必要な「生きる力」である「確かな学力、豊かな人間性、健康・体力」の「知・徳・体」をバランスよく育てるため、各学校において、学校の特色を生かして創意工夫を重ねるとともに、家庭や地域と協力しながら、こどもの心身の発達の段階や特性に応じた教育活動の推進が求められています。

小諸市における学校教育に関連した当面の最重要課題は、学校再編計画（令和5年7月）に基づく「小諸市全体での小中一貫教育の推進」であり、その中でハード・ソフト両面において、必要な教育環境の整備を進める必要があります。

また、個別具体の継続的な教育課題として、「不登校」「いじめ」「学力のばらつき」の改善に向けた取組について、引き続いての対応が強く求められています。

#### ◆方針（目的）

各学校において、こどもや学校、地域の実態を考慮して、家庭や地域など様々な関係者との連携・協働により学校教育に取り組む「社会に開かれた教育課程」を適切に編成し、こどもたちの「生きる力」を育むための学力の重要な3要素、「①基礎的な知識・技能」「②知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力」「③主体的に学習に取り組む意欲」の育成を目指して、組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の推進と、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の実現に向けた授業改善を中心に教育活動を進めます。その中で、特に、不登校等の個別の課題については、事案に応じて着実に対応していきます。

上記の様な学校及び関連施設における教育活動の推進を適切に支えるため、ハード面で小諸東中学校区の当面の大規模改修、芦原中学校区の再編校整備を進めるとともに、ソフト面においては、「社会に開かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」「アクティブ・ラーニング」等の実現・充実に必要な人的・物的体制の確保を図ります。

## ◆目標

- ①各学校において、こどもの心身の発達の段階や特性、学校や地域の実態が十分考慮された適切な教育課程が編成され、それに基づき様々な関係者との連携・協働による教育活動が着実に日々実践される状態。
- ②学校教育を通じて「生きる力」を身に付けたこどもたちが、それを活かし、自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら社会において活躍する状態。

## ◆目標値

|   |           |                                                                                                   |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|---|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------|--|-------------|--|-------------|--|-----------|--|
| ① | 指標名       | 全国学力状況調査（小学6年生・中学3年生の全国平均値との対比）                                                                   |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|   | 設定理由      | こどもたちの「学力」の習得度合い・向上の成果を図る定量的な指標として、全市を対象とした代表的なものであるから。                                           |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                                                        |  | 令和6年度       |  | 令和7年度       |  | 令和8年度       |  | 令和9年度     |  |
|   |           | 小90.1 中91.7                                                                                       |  | 小92.5 中92.5 |  | 小95.0 中95.0 |  | 小97.5 中97.5 |  | 小100 中100 |  |
|   | 算出根拠(現状値) | 令和5年度全国学力状況調査の全国平均値を100とした場合の対比                                                                   |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|   | 設定根拠(計画値) | 令和9年度におけるの全国平均値（100）達成に向けた漸増の目標値を設定                                                               |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
| ② | 指標名       | 全国体力状況調査（小学5年生・中学2年生の全国平均値との対比）                                                                   |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|   | 設定理由      | こどもたちの「体力」の状況・向上の成果を図る定量的な指標として、全市を対象とした代表的なものであるから。                                              |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                                                        |  | 令和6年度       |  | 令和7年度       |  | 令和8年度       |  | 令和9年度     |  |
|   |           | 小95.9 中91.0                                                                                       |  | 小97.0 中92.5 |  | 小98.0 中95.0 |  | 小99.0 中97.5 |  | 小100 中100 |  |
|   | 算出根拠(現状値) | 令和5年度全国体力状況調査全国平均値を100とした場合の対比                                                                    |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|   | 設定根拠(計画値) | 令和9年度におけるの全国平均値（100）達成に向けた漸増の目標値を設定                                                               |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
| ③ | 指標名       | 学校へ行くことを楽しいと思っている児童・生徒の割合                                                                         |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|   | 設定理由      | こどもたちの「主体的に学習に取り組む意欲」の状況を把握可能な指標であり、さらに、こどもたちにとって学校へ行くことが楽しければ、学校教育における「生きる力」の全般の育成につながると考えられるから。 |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                                                        |  | 令和6年度       |  | 令和7年度       |  | 令和8年度       |  | 令和9年度     |  |
|   |           | 小84.2% 中78.0%                                                                                     |  | 小88% 中78%   |  | 小88% 中78%   |  | 小88% 中78%   |  | 小88% 中78% |  |
|   | 算出根拠(現状値) | 令和5年度小学6年生・中学3年生の調査結果                                                                             |  |             |  |             |  |             |  |           |  |
|   | 設定根拠(計画値) | 小学生は第11次基本計画目標値（令和元年度実績値）を、中学生は令和5年度実績値を、それぞれ目標値として期間内維持するよう設定                                    |  |             |  |             |  |             |  |           |  |

## ◆主な事業

| 事業名           | 事業のねらい    |
|---------------|-----------|
| 姉妹都市教育委員等連携事業 | 施策1－1目標①② |
| 部活動地域移行事業     | 施策1－1目標②  |
| 学校再編事業        | 施策1－1目標①  |
| 小中学校施設維持管理事業  | 施策1－1目標①  |
| 小中学校教育振興支援事業  | 施策1－1目標①② |
| 小中学校ICT教育推進事業 | 施策1－1目標①  |
| 小中学校給食運営事業    | 施策1－1目標②  |

## ◆個別計画

教育振興基本計画／学校再編計画／学校施設長寿命化計画

## 【政策 1】子育て・教育

### 【施策 1－2】



安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる  
環境の整備を進めます

主管課：こども家庭支援課

関連課：健康づくり課／福祉課／学校教育課

#### ◆現状と課題

少子化や、核家族化、地域での人と人とのつながりの希薄化など、こどもや家庭を取り巻く環境が大きく変化し、これに伴って、子育てに関するニーズが増大するとともに、複雑・多様化しており、対応が求められています。

共働き家庭の増加などから、未満児保育需要が増加しており保育人材の確保が課題であり、同様に、児童クラブ、児童館を利用する就学児童も増加しており厚生員、指導員の確保も課題となっています。また、子育てに不安を抱える家庭への支援や、こどもの貧困問題、ヤングケアラーへの対応、児童虐待防止対策などが課題となっています。

#### ◆方針（目的）

若者の出会いや結婚の希望の実現に向けた支援の充実を図るとともに、誰もが安心して子育てができるよう、ファミリーサポートセンター事業の拡充などにより住民による子育て支援を進めます。また、保育園においては将来にわたりより良い保育環境が維持できるよう保育士の確保を図るとともに、民間施設とも連携しながら保育園の再配置計画の策定を進めます。

「こども家庭センター」を中心に、妊産婦から 18 歳までのこどもや子育て世帯に対し切れ目なく庁内組織と一体的な相談・支援を行います。そのうえで、こどもの貧困やヤングケアラー等の複層化する課題を重視して、支援を必要とするこども及び子育て家庭を早期に把握し、関係機関や民間事業者との連携により、課題解決に向けた「より添った支援」の充実を図ります。

特に、こどもの育ちの支援においては、切れ目のない継続的な支援体制や学びの機会が確保されるよう、教育委員会をはじめとした関係機関との連携を強化します。

また、すべてのこども・若者が尊重され、社会との関わりの中で自尊感情や自己肯定感を育み健やかに成長できるよう、家庭や地域と必要な役割を共有し、協働による次世代を担うこども・若者の健全育成を目指します。

## ◆目標

- ①出会いや結婚を希望する人にその機会があり、安心してこどもを産み育てられる状態。
- ②すべてのこどもの権利が擁護され適切な保育や養育がなされている状態。
- ③支援を必要とするこどもや若者、子育て家庭に必要な支援がなされている状態。

## ◆目標値

|   |           |                                                                                    |       |       |       |       |
|---|-----------|------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 指標名       | 子育てしやすい環境づくりに対する市民満足度（市民意識調査）                                                      |       |       |       |       |
|   | 設定理由      | こどもが心身ともに健やかに育つために、安心して子育てができる環境が必要であるから。                                          |       |       |       |       |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                                         | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|   |           | 47.7%                                                                              | 50.0% | 50.5% | 51.0% | 51.5% |
|   | 算出根拠(現状値) | 満足＋やや満足＋普通と答えた人の割合                                                                 |       |       |       |       |
| ② | 設定根拠(計画値) | 子育て支援への要望が高まったことなどにより、それまで55%を超えていた値がR4より50%を切っている。大幅な子育て支援施策はできないが、R6には50%超えを目指す。 |       |       |       |       |
|   | 指標名       | 育成会など地域ぐるみでこどもを育てる環境づくりに対する市民満足度（市民意識調査）                                           |       |       |       |       |
|   | 設定理由      | 安心して子育てをするためには、地域全体でこどもを見守る環境が必要であるから。                                             |       |       |       |       |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                                         | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|   |           | 52.0%                                                                              | 52.5% | 53.0% | 53.5% | 54.0% |
|   | 算出根拠(現状値) | 満足＋やや満足＋普通と答えた人の割合                                                                 |       |       |       |       |
|   | 設定根拠(計画値) | ①と同様にR4で急激に値が低くなったが、子育てに対する市民意識の醸成により、値の上昇を目指す。                                    |       |       |       |       |

## ◆主な事業

| 事業名         | 事業のねらい     |
|-------------|------------|
| 児童手当        | 施策1－2目標①②③ |
| ひとり親福祉事業    | 施策1－2目標①②③ |
| 保育所運営事業     | 施策1－2目標①②③ |
| 子ども・子育て支援事業 | 施策1－2目標①②③ |
| 子どもセンター運営事業 | 施策1－2目標①③  |
| 児童クラブ運営事業   | 施策1－2目標①②③ |
| 児童施設運営事業    | 施策1－2目標①③  |
| 青少年育成補導推進事業 | 施策1－2目標①   |
| 子ども家庭支援事業   | 施策1－2目標①②③ |

## ◆個別計画

こども計画／地域福祉計画・地域福祉活動計画

## 【政策 1】子育て・教育

### 【施策 1－3】



生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

主管課：文化財・生涯学習課

#### ◆現状と課題

美術館、記念館では、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した入館者を取りもどすため、集客に力を入れていますが、回復まで至っていません。図書館は開館以来多くの市民に利用いただけていますが、文化センターは各施設とも利用者数が減少傾向で推移しています。また、各館における講座等の参加者数は安定していますが、参加者の裾野を広げていくことが課題です。

美術館、記念館等の生涯学習施設は経年劣化が進んでおり、施設すべての長寿命化を実現するためには、多額の費用を要します。

#### ◆方針（目的）

市民の主体的な「学び」を促進するため、魅力ある企画展や市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の企画を創出します。また、小諸の歴史的、文化的小宝や自然の素晴らしさなどを楽しみながら体験する「ふるさと学習」を推進し、ふるさとを愛し大切に思う、郷土愛あふれたこどもの育成を図ります。

生涯学習施設については、各施設の老朽化等を踏まえ管理計画を策定し、環境整備を行います。

「音楽のまち・こもろ」では、あらゆる世代における音楽文化の発展のため、小諸の音楽活動を積極的に推進し、作曲コンクールやミニコンサート等、これまで実施してきた事業の創意工夫と見直しにより充実を図ります。

## ◆目標

- ①市民が主体的に学び、自らを高め、学びの成果を地域で活かし、生きがいをもって生活している状態。
- ②生涯学習施設が適切に管理・運営され、市民が芸術・文化にいつでもふれることができる状態。
- ③市民が作曲コンクールやミニコンサートなどにより音楽にふれ、生き生きと暮らしている状態。

## ◆目標値

|   |           |                                                                        |        |        |        |        |
|---|-----------|------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| ① | 指標名       | 文化・芸術を身近に感じている人の割合（市民意識調査）                                             |        |        |        |        |
|   | 設定理由      | 文化・芸術を身近に感じている人の割合が高まれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。                   |        |        |        |        |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                             | 令和6年度  | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  |
|   |           | 41.0%                                                                  | 42%    | 43%    | 44%    | 45%    |
|   | 算出根拠(現状値) | 市民意識調査「文化・芸術を身近に感じる人の割合」の「そう思う」「ややそう思う」の合計                             |        |        |        |        |
| ② | 設定根拠(計画値) | 4年後の目標値を45%とし、毎年向上を目指す。                                                |        |        |        |        |
|   | 指標名       | 芸術・文化に親しむ機会の充実に対する市民満足度（市民意識調査）                                        |        |        |        |        |
|   | 設定理由      | 芸術・文化に親しむ機会の充実に対して満足と感じている人の割合が高くなれば、市民が芸術・文化にいつでもふれることができていると考えられるから。 |        |        |        |        |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                             | 令和6年度  | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  |
|   |           | 71.3%                                                                  | 72%    | 73%    | 74%    | 75%    |
| ③ | 算出根拠(現状値) | 市民意識調査「芸術・文化に親しむ機会の充実」の「満足」、「やや満足」、「普通」の合計                             |        |        |        |        |
|   | 設定根拠(計画値) | 4年後の目標値を75%とし、毎年向上を目指す。                                                |        |        |        |        |
|   | 指標名       | ミニコンサートの鑑賞者数                                                           |        |        |        |        |
|   | 設定理由      | ミニコンサートの鑑賞者数が増えることにより、市民が音楽にふれ、生き生きと暮らすことができていると考えられるから。               |        |        |        |        |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                             | 令和6年度  | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  |
|   |           | 1,069人                                                                 | 1,100人 | 1,133人 | 1,167人 | 1,200人 |
|   | 算出根拠(現状値) | ミニコンサート鑑賞者数の実績値                                                        |        |        |        |        |
|   | 設定根拠(計画値) | 前年度実績より3%上昇させることを目標とする。                                                |        |        |        |        |

## ◆主な事業

| 事業名             | 事業のねらい    |
|-----------------|-----------|
| 小諸藤村文学賞事業       | 施策1－3目標①  |
| 史料館等管理事業        | 施策1－3目標②  |
| 音楽のまち・こもろ推進事業   | 施策1－3目標③  |
| 図書館運営事業         | 施策1－3目標①② |
| 公民館運営事業         | 施策1－3目標①  |
| 文化センター運営事業      | 施策1－3目標②  |
| 小山敬三美術館運営事業     | 施策1－3目標①② |
| 高原美術館・白鳥映雪館運営事業 | 施策1－3目標①② |
| 藤村記念館運営事業       | 施策1－3目標①② |
| 小諸義塾記念館運営事業     | 施策1－3目標①② |
| 高濱虚子記念館運営事業     | 施策1－3目標①② |

## ◆個別計画

教育振興基本計画／子ども読書活動推進計画

## 【政策 1】子育て・教育

### 【施策 1－4】



#### かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

主管課：文化財・生涯学習課

#### ◆現状と課題

「古文書学習講座」「KOMORO HISTORY」「出前講座」などにより文化財に関する学びの機会を醸成しています。また、市内小中学校の「出前講座」の利用が増えてきています。

文化財の所有者・継承者の高齢化や後継者不足などにより、保存・継承・活用等が難しくなっています。

古文書の整理・調査を古文書調査室で行っていますが、収集・保存・展示・調査研究等を行う体制が不足しており、郷土の貴重な歴史的資料や古文書等の散逸が危惧されます。

旧郷土博物館は老朽化が著しく、収蔵品を移転させる必要があります。

旧小諸本陣（問屋場）の解体復原工事について、解体は終了し、本格的に復原工事に着手します。

#### ◆方針（目的）

小諸の歴史的、文化的なお宝や自然の素晴らしさなどを楽しみながら体験する「ふるさと学習」を推進し、ふるさとを愛し大切に思う、郷土愛あふれたこどもの育成に努めます。

個人や団体が所有・継承している文化財は、適切に保存・継承・活用等ができるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行います。

郷土の貴重な歴史的資料や古文書等が散逸しないよう、収集・保存・展示・研究等を一体的に行う体制の充実を図ります。また、旧郷土博物館の収蔵品の保管場所を検討します。

小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等と連携を取り積極的な有効活用を図ります。旧小諸本陣（問屋場）では解体復原工事後の活用方法等を盛り込んだ保存活用計画の策定を進めます。



## ◆目標

- ①文化財が適切に保存・継承されるとともに、観光面等で有効に活用されている状態。
- ②地域や住民が自ら、文化財を保存・継承するための活動が行われている状態。
- ③歴史的資料や古文書等の収集・保存・展示・研究等を一体的に行い、活用されている状態。

## ◆目標値

|   |           |                                                                       |       |       |       |       |
|---|-----------|-----------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 指標名       | 伝統行事や文化財の保存・活用の状況に対する市民満足度（市民意識調査）                                    |       |       |       |       |
|   | 設定理由      | 伝統行事や文化財の保存・活用の状況に満足と感じている人の割合が高くなれば、文化財の保存・継承・活用等が適切に行われていると考えられるから。 |       |       |       |       |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                            | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|   |           | 69.8%                                                                 | 71%   | 72%   | 73%   | 74%   |
|   | 算出根拠(現状値) | 市民意識調査「伝統行事や文化財の保存・活用の状況」の「満足」、「やや満足」、「普通」の合計                         |       |       |       |       |
| ② | 設定根拠(計画値) | 毎年約1%上昇を目指す。                                                          |       |       |       |       |
|   | 指標名       | 指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の申請数                                            |       |       |       |       |
|   | 設定理由      | 指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の活用により、文化財を保存・継承するための活動が行われていると考えられるから。         |       |       |       |       |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                            | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|   |           | 17件                                                                   | 17件   | 17件   | 17件   | 17件   |
|   | 算出根拠(現状値) | 指定文化財保護補助金及び無形民俗文化財公開謝礼の申請数（実数）                                       |       |       |       |       |
|   | 設定根拠(計画値) | 申請を絶やさないよう、現状維持を目指す。                                                  |       |       |       |       |

## ◆主な事業

| 事業名            | 事業のねらい     |
|----------------|------------|
| 文化財保護活用事業      | 施策1－4目標①②③ |
| 旧小諸本陣建造物保存修理事業 | 施策1－4目標①   |

## ◆個別計画

教育振興基本計画



## 【政策 1】子育て・教育

### 【施策 1－5】



## スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

主管課：スポーツ課／国民スポーツ大会準備室

関連課：健康づくり課

### ◆現状と課題

小諸市スポーツ推進計画の基本理念「歩こう・走ろう・坂のまち！～生涯スポーツで健康長寿～」に基づいたスポーツ施策として、こどもの運動プログラム活動、出前講座、スポーツ教室、学校開放事業などこどものスポーツ機会の充実や誰もが楽しめるスポーツを推進してきました。また、スポーツ大会の開催、スポーツ指導者の資質向上の支援など競技力の向上や市民の健全な心と健康・体力の増進の取組、高地環境を活かしたアスリートのトレーニングの誘致とトップアスリートとの交流など市民がスポーツに親しみ、まちの活性化や健康づくりにつなげる取組を推進しています。

ライフスタイルの変化などからスポーツニーズの多様化に対応するため、スポーツを身近に感じ、誰もがいつでもスポーツをしやすい環境づくりをさらに進める必要があります。

### ◆方針（目的）

スポーツの力で小諸市を元気にします。こどもから高齢者まで誰もが心身ともに健康な状態であることを高めるため、スポーツを通じて地域、学校、家庭、社会のつながりや関わりを作り出し、多様なニーズに応える環境整備を進めていきます。特にこどものスポーツ機会の充実と体力向上は、生涯スポーツの実現の基礎となるため、学校はもとより地域のスポーツ環境の充実、魅力あるスポーツ体験、多様なニーズに応えるスポーツ指導者の養成や運動部活動の地域移行などのスポーツを身近に感じる取組を推進します。

小諸エリアを活用した高地トレーニングの展開からは、アスリートとの交流や高地トレーニング効果を応用した「坂のまち」の特色を活かした健康づくり、また、スポーツツーリズムなど観光・経済振興につなげる取組を推進します。

第 82 回国民スポーツ大会の小諸市でのレスリング競技会を成功させるため、施設環境の整備や関係団体等と連携して準備を進めるとともに、選手が育ち地域スポーツを支える環境や市民の関心と機運の高まりを活用したスポーツの振興を推進します。

## ◆目標

- ①体育施設の利用などを通じて、地域でのスポーツに親しむ人が増え交流や活動が増える状態。
- ②市民がそれぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などライフスタイルに応じてスポーツに親しむことができる状態。
- ③2028年の第82回国民スポーツ大会のレスリング競技開催準備が着実に進み、スポーツへの関心も高まっている状態。

## ◆目標値

|   |           |                                                               |       |       |       |       |
|---|-----------|---------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 指標名       | スポーツ・レクリエーション活動が行いやすい環境づくりに対する市民満足度（市民意識調査）                   |       |       |       |       |
|   | 設定理由      | 満足度が上がることにより、活動などの行いやすい環境の提供ができていと考えられるから。                    |       |       |       |       |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                    | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|   |           | 59%                                                           | 60%   | 61%   | 63%   | 65%   |
|   | 算出根拠(現状値) | こもろ・まちづくり市民意識調査「スポーツ・レクリエーション活動が行いやすい環境づくり」の「満足」「やや満足」「普通」の合計 |       |       |       |       |
| ② | 設定根拠(計画値) | 4年後の目標値を65%とし、毎年向上を目指す。                                       |       |       |       |       |
|   | 指標名       | スポーツを身近に感じるに対する市民満足度（市民意識調査）                                  |       |       |       |       |
|   | 設定理由      | スポーツを身近に感じている人の割合が高まれば、スポーツを通じた交流や活動などが増えていると考えられるから。         |       |       |       |       |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                    | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|   |           | 36.30%                                                        | 39%   | 41%   | 43%   | 45%   |
|   | 算出根拠(現状値) | こもろ・まちづくり市民意識調査「スポーツを身近に感じる」の「そう思う」「ややそう思う」の合計                |       |       |       |       |
|   | 設定根拠(計画値) | 4年後の目標値を45%とし、毎年向上を目指す。                                       |       |       |       |       |

## ◆主な事業

| 事業名            | 事業のねらい               |
|----------------|----------------------|
| スポーツ大会等運営事業    | 施策1－5目標①② 【連携】施策3－1  |
| 体育施設運営費        | 施策1－5目標①② 【連携】施策3－1  |
| 総合体育館等運営事業     | 施策1－5目標①②③ 【連携】施策3－1 |
| 学校開放事業         | 施策1－5目標①② 【連携】施策3－1  |
| 高地トレーニング等推進事業  | 施策1－5目標①② 【連携】施策3－1  |
| 国民スポーツ大会開催関係事業 | 施策1－5目標③             |

## ◆個別計画

教育振興基本計画／スポーツ推進計画

## 【政策 1】子育て・教育

### 【施策 1－6】



#### 市民の人権意識を高めます

主管課：人権同和教育課／人権政策課

#### ◆現状と課題

同和問題をはじめ、女性、こども、高齢者、障がい者、外国人、犯罪被害者等に対する様々な差別や人権問題が今も存在し、近年では、インターネットやSNS上でのいじめや人権侵害が問題となっています。このような状況を踏まえ、あらゆる差別に対する教育や啓発などにより人権意識を高める必要があります。

また、性別による固定的な役割分担意識や慣習等が家庭や地域に存在しており、女性の社会参画を阻害するばかりでなく、男性にとっても生き方の選択肢を狭めてしまう要因となっています。このような社会の慣習等にとらわれないような、男性・女性それぞれの意識改革が重要であり、子育てや介護の場面でも男女が共同して家族としての責任を果たすとともに、地域社会で支える体制の構築が必要です。

#### ◆方針（目的）

差別のない、すべての人の人権が尊重される社会の実現を図るために、「知ること」「気づけること」「行動につなげること」を意識し、学校人権同和教育では、差別があることを学び人権感覚が身につくよう人権啓発作品コンクール等の取組を推進します。社会人権同和教育では、地域や企業とも連携し地域ごとの学習会や企業内教育により人権感覚を磨きます。

男女共同参画の推進に向けて、関係機関との連携により働きやすい環境づくりやワーク・ライフ・バランスの重要性について、企業等に情報提供し啓発を図ります。また、あらゆる世代における固定的な役割分担意識の払拭や意識改革に向け啓発活動を行います。

あらゆる差別や偏見などの人権問題やインターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の把握に努め、安心して人権問題の相談ができるよう関係機関と連携した支援体制の充実を目指します。

## ◆目標

- ①市民が、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、人権に関する知識が得られ、様々な人々との交流の機会を通じ、差別や偏見等に気づくことができる人権感覚が身についた状態。
- ②男女共同参画及びジェンダー平等社会が実現できた状態。
- ③市民が、人権問題について、必要なときに相談ができ、解決に向けた支援が受けられる状態。

## ◆目標値

|   |           |                                                                                     |       |       |       |       |
|---|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| ① | 指標名       | 1年以内に差別や偏見など人権を侵害されたことのある人の割合<br>(いじめ、悪口、グループからの排除、無視等の経験の有無)                       |       |       |       |       |
|   | 設定理由      | 上記の指標の割合がより低いことで、市民の人権意識が高まったと考えられるから。                                              |       |       |       |       |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                                          | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|   |           | 9.1%                                                                                | 0%    | 0%    | 0%    | 0%    |
|   | 算出根拠(現状値) | こもろ・まちづくり市民意識調査による人権侵害の経験の有無                                                        |       |       |       |       |
| ② | 設定根拠(計画値) | 人権侵害のない暮らしやすい状態を目指すため。                                                              |       |       |       |       |
|   | 指標名       | 審議会委員等への女性の参画率                                                                      |       |       |       |       |
|   | 設定理由      | 上記の指標の数値が高くなれば、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現に近づくと考えられるから。                                    |       |       |       |       |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                                          | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|   |           | 39.7%                                                                               | 45%   | 45%   | 45%   | 45%   |
| ③ | 算出根拠(現状値) | 審議会委員等への女性の参画率調査（毎年4月1日現在）                                                          |       |       |       |       |
|   | 設定根拠(計画値) | 男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現を目指すため(男女共同参画こもろプランによる目標値)。                                     |       |       |       |       |
|   | 指標名       | 困っているときに相談できる人がいる割合                                                                 |       |       |       |       |
|   | 設定理由      | 困っている時に手を差し伸べることができることは、困っている時に相談できる人がいることの裏返しであり、相談できる人がいることが、「優しさ」や「つながり」に結びつくから。 |       |       |       |       |
|   | 目標値       | 令和5年度(現状値)                                                                          | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|   |           | 51.7%                                                                               | 52%   | 53%   | 54%   | 55%   |
|   | 算出根拠(現状値) | こもろ・まちづくり市民意識調査「日頃の困りごとについて安心して相談できる人がいる」の「そう思う」「ややそう思う」の合計                         |       |       |       |       |
|   | 設定根拠(計画値) | 令和5年度の現状値から毎年1%上昇させることを目標とする。                                                       |       |       |       |       |

## ◆主な事業

| 事業名        | 事業のねらい                   |
|------------|--------------------------|
| 人権同和教育推進事業 | 施策1-6目標①②③ 【連携】施策1-2、1-3 |
| 隣保館運営事業    | 施策1-6目標①②③ 【連携】施策1-2、1-3 |
| 男女共同参画推進事業 | 施策1-6目標②③ 【連携】施策1-2      |
| 多文化共生事業    | 施策1-6目標①③ 【連携】施策4-3      |

## ◆個別計画

教育振興基本計画／部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画  
／男女共同参画こもろプラン